



## 見どころ再発見！ 筑西市を満喫する1日

10月2日、筑西市の見どころを改めて知ってもらおうと、ちくせい観光ボランティアガイド協会（諏訪光一会長）の案内で「筑西市見どころ再発見バスツアー」が行われました。参加者は、定林寺（岡芹）で下館の礎を築いた水谷家の墓に参り、道の駅「グランテラス筑西」での買い物、ザ・ヒロサワ・シティでの美術館見学など、筑西市を満喫していました。



10月26日撮影

## 絶景と心あたたまるおもてなし～ダイヤモンド筑波～

年に2回の絶景「ダイヤモンド筑波」を見ようと、多くの人が母子島遊水地を訪れました。10月27日には、筑西市活性化プロジェクトちくくタグが温かいスープパスタをふるまったほか、(株)布屋（日本マクドナルドフランチャイジー）による缶コーヒー提供、農産物の販売、あけの元気館の無料入場券の配布などが行われ、来場者をもてなしました。



## 認知症になっても安心して暮らせる地域へ

10月19日、認知症への理解と共に暮らしやすい社会をつくることを目的に「RUN 伴」が開催されました。この日は認知症の人やその家族、支援者ら総勢105人のランナーがオレンジ色のTシャツに身を包み、市内をリレーしながらタスキをつなぎました。ゴール後、参加者のみなさんは達成感と共に人のつながりの大切さを実感していました。



## 収穫のよろこびを体験 第16回尊徳豆まつり

10月18日から19日にかけて、報徳壹圓塾（小石川功塾長）主催の「尊徳豆まつり」が開催されました。会場となった山崎地内の畑には、青々とした枝豆がたわわに実り、市内外の多くの人が収穫に汗を流しました。参加者は「自分で収穫した枝豆は格別。ここの枝豆は、とてもおいしいので、毎年楽しみにしています」と声を弾ませていました。



## 筑西の暮らしを体験！ 筑西市移住ツアー

10月19日、筑西市への移住体験を行ってもらおうと、移住ツアーを実施しました。ツアーには東京都などからの参加者19人と芸人でいばらき大使の「赤プル」が同行し、野菜の収穫体験や道の駅「グランテラス筑西」、来福酒造などを見学しました。参加者からは「とても楽しかった。また筑西市に来たい」などの声を聞くことができ、大変好評でした。

# 下館駅周辺がハロウィン一色に染まる！



下館駅南口では、「さくらハロウィンフェス 2019」（さくらハロウィンフェス実行委員会主催）、下館駅北口では、「みとせんマルシェ」 & 「JR下館駅社員企画イベント」、下館駅構内では、ハロウィン仕様のSLの見学会も行われ、普段とは違った街並みとなった下館駅周辺は大いににぎわいました。

11月3日、下館駅周辺ではハロウィンに合わせさまざまなイベントが開催されました。

ちっくタグ（白井佐智子リーダー）主催による「しもだてハロウィンフェスティバル 2019」では、さまざまな格好に仮装をした子どもたちが「トリック・オア・トリート」を合い言葉に街なかを練り歩き、お菓子を集めました。



## みんなに知ってほしい わが校のいいところ

11月17日、青少年育成筑西市民の会（稲見信夫会長）主催による「第14回筑西市教育の集い」が開催されました。いじめ防止や地域住民との交流、あいさつ運動など、各学校の活動について、演劇や演奏、ビデオ上映など工夫を凝らした紹介が行われました。また、真岡落語研究会による落語や紙切りの講演も行われ、たくみな話芸に会場は笑いに包まれました。



## 劇で学ぶ、不審者対策！ 合い言葉は「いかのおすし」

10月28日、協和幼稚園で不審者侵入を想定した避難訓練が行われました。「劇團ゴン太」の協力により、不審者に出会ったときの対応を演劇で楽しく学び、園児たちは「いかのおすし」の約束を確認しました。

### 【いかのおすし】

いか：行かない の：乗らない  
お：大きな声で叫ぶ  
す：すぐ逃げる し：知らせる



## 家族連れでにぎわいを見せた関城商工まつり

11月3日、ペアーノ（市生涯学習センター）で、筑西市商工会（大畑良雄会長）主催の「関城商工まつり」が開催されました。

会場では、地元物産の販売や抽選会、ダンス発表、おはやし演奏などが行われました。なかでも、アンパンとのじゃんけん大会には、多くの子どもたちが集まり、楽しいひとときを過ごしました。